

## 中毒症や依存症、貧血やリウマチ、エイズまで

PM Sだけでなく、精神的な抑うつ状態からおこってくる中毒症や依存症にも、プロスタグランディンの不足が大きくかかわっていることは、以前から研究者の間でいわれています。

このため、欧米では、こうした患者さんたちにγーリノレン酸をとってもらおう治療がおこなわれています。

たとえば、アルコール依存症の患者さんにγーリノレン酸をとってもらおうと、アルコールを飲まずに我慢することができるようになり、同時にアルコールを飲んだあとにおこってくる不安感などの抑うつ状態も改善されることが報告されています。

また、女性に多い鉄欠乏性貧血や慢性関節リウマチにも、γーリノレン酸が有効だったという報告があります。

イギリスでは、リウマチの患者さんにγーリノレン酸が主成分のボラージオイルと、やはり、プロスタグランدينをつくる原料となっているn-3系の脂肪酸を多く含む



魚の油を使った実験で、この2つの油をいっしょにとった患者さんでは、60%の人で症状がよくなったという結果が出ています。

症状がよくなった患者さんの多くが、リウマチの痛みをやわらげるために欠かせない抗炎症薬を飲まなくても平気になったり、また、薬の量を半減させることができたといえます。

リウマチは完治が難しく、薬を飲み続けなければならない人が多いもの。治療に使うリウマチ薬のなかには、胃が荒れるなどの副作用が出やすいものもあり、患者さんも医師も悩むところですから、イギリスの報告はたいへん興味深いといえるでしょう。

このほか、原因不明の強い全身倦怠感けんたいかんや微熱などが長期にわたって続く慢性疲労症候群にも、γ-リノレン酸がよい影響を与えろという研究結果が出ています。

さらに、ウイルス感染やエイズなどにもよいというデータもあるとのこと。なんともたのもしいかぎりですね。